

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院眼科に、角膜移植で手術・通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学眼科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

本邦における角膜移植の適応と術式の現状

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 紀北分院 教授 岡田由香（氏名）

3. 研究の目的

角膜移植例の原因疾患および移植手術術式等を調査することで、日本人の眼における最適な術式選択や現行の治療方法の改善を図ります。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

角膜疾患の患者さんで、平成29年1月1日から令和元年12月31日までの期間中に、角膜移植を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、手術を受けた眼の左右、原疾患名、視力、角膜移植を受けた日、角膜移植の術式、併用した手術の術式、合併症、治療成績に関する情報です。

(3) 方法

術式や原疾患、治療成績、合併症などのすべての調査項目についてデータを集計します。術式や原疾患などの項目別に治療成績、合併症を比較します。研究代表機関は大阪大学附属病院眼科であり、主な共同研究機関は東京医科歯科大学市川総合病院眼科、京都府立医科大学眼科、金沢大学附属病院眼科、国際医療福祉大学成田病院眼科です。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

本研究は、日本角膜学会の研究費および日本角膜移植学会の調査費により実施します。利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺 219

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 担当医師 岡田由香
TEL : 0736-22-0066 FAX : 0736-22-2579
E-mail : yokada@wakayama-med. ac. jp